

人生を輝かせる山登りのススメ(第36回)

山でハッピーウエディング

2018.06.22

山の新緑が梅雨にぬれる季節になりました。高山植物の花が開き始める6月といえば、結婚式のシーズンですね。そこで今回は、山で行う結婚式についてお話ししたいと思います。

私自身は2017年に“自分たちらしく”そして、お招きした方にも喜んでいただきたいという気持ちを大切に、山で結婚式を挙げました。恥ずかしながら、本編後半、穂高神社奥宮での体験談を書いています。山での結婚式に興味がある方は、ぜひ一読してみてください。



より強く思い出に残る山での結婚式

山好きはやっぱり山で

最近のブライダル事情は多様化していて、都市部の専門施設ばかりでなく自分たちらしい場所や演出で結婚式・披露宴をするのが流行しているといえます。登山を通じて知り合ったカップルなら、やはり好きな山で式を挙げたいと思うのも自然なことでしょう。

二人が出会った山、思い出の山など、思い入れのある場所で人前式をしたり、ウエディングドレスで記念写真を撮ったりする山好きカップルは多いですが、中には日本一の場所、富士山頂で神前式をするつわものカップルもいます。



日本最高所の神社、富士山頂上奥宮でも式が挙げられる

神奈川県にお住まいの森田貴彦さん・芙美子さんは2017年8月11日(山の日)に富士山頂にある「富士山頂上奥宮」で挙式をされました。芙美子さんのお父さんは登山が大好きで、中でも富士山には毎年登るほどに特別な思い出があるそう。そこで二人で相談し、お父さんを喜ばそうと、富士山頂での結婚式を決めたそうです。

貴彦さん、芙美子さんはタキシード、ウエディングドレスを自分たちで背負い上げ、山頂で着替えて式に臨んだそうです。当日はお父さんと、山の仲間数名が式に立ち会いました。霧がちな天気でしたが、時折青空も見られ、「まさに一生の思い出になる結婚式になりました」と話してくれました。お二人はもちろんですが、お父さんがどれほど感動されたかは、想像に難くありませんよね。



富士山頂で結婚式を挙げられた森田貴彦さん、芙美子さんご夫妻。他の登山者にも祝福され幸せいっぱい

山頂で神前式のご奉仕をする富士山頂上奥宮(富士山本宮浅間大社)に伺ったところ、2017年は12組、2016年は10組が挙式をしたそうです。奥宮が開かれるのは7月中旬～8月末という短い期間。その間に10組前後が行っているのですから、もしかしたら、皆さんが登ったときにも幸せなシーンを見かけるかもしれません。

挙式の内容は、麓の富士山本宮浅間大社とまったく同じで、祝詞奏上の儀(神主が両家の結婚を神さまに報告し、加護を祈る儀式)や、三献の儀(お神酒を飲み、夫婦の契りを交わす儀式)などが執り行われます。

二人だけで心静かに行くこともあれば、山の仲間20人ほどが参列してにぎやかに祝福されることもあるといいます。婚礼衣装に着替えることもできますが、衣装を運び上げるのが大変なため、登山ウエアのまま行うというカップルも多いそうです。

富士山での挙式、まさに日本一の場所で愛を誓えば、その絆はより確かなものになりそうです。

舟に乗る結婚式… 続きを読む